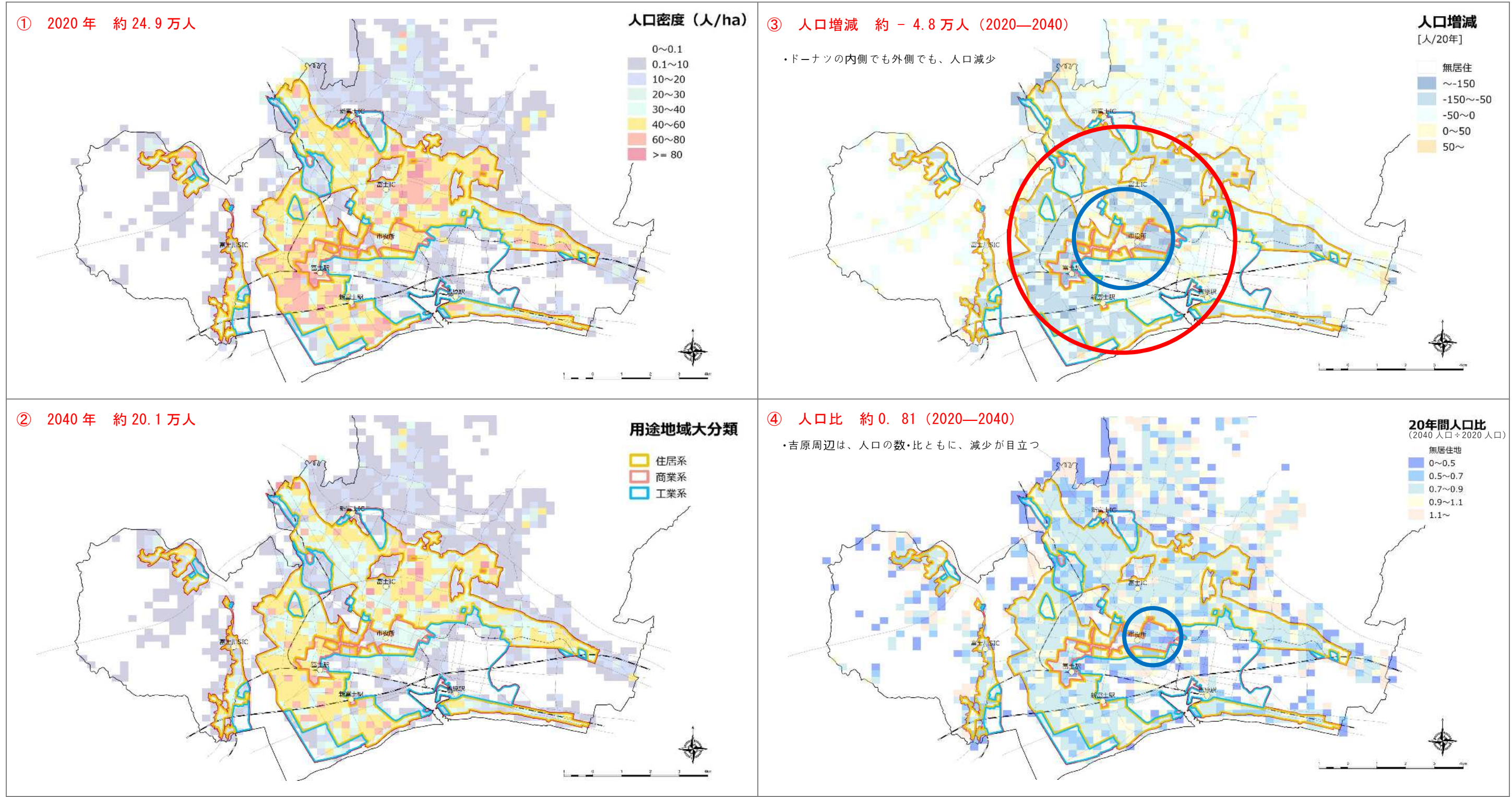


(2) 居住人口（これから、2020-2040）

- ①② 市内人口は、これからの20年間で、約4.8万人減少すると見込まれている。
- ③④ 市域全体で人口減少が見込まれ、なかでも「まちなか」の減少割合が大きいと見込まれる。
- ⇒ 人口減による土地利用ニーズ低下や生活サービス撤退、世帯減による空家発生等が懸念される。

■ 人口密度と人口増減（データ出典：国勢調査2020年5次メッシュ、及び社人研推計2023年4次メッシュ（5次メッシュに配分））

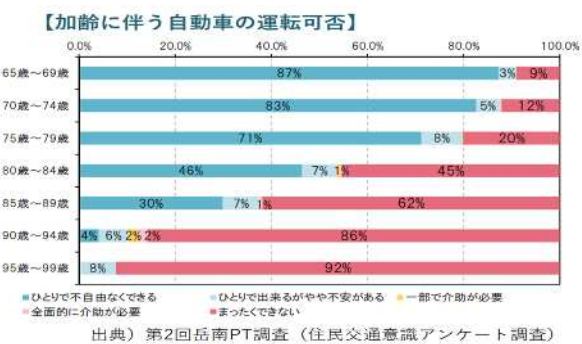
■ 人口推移と推計（データ出典：国勢調査及び社人研推計）（再掲）



(3) 高齢者、後期高齢者

- ①② 65歳以上の高齢者は、これからの20年で、約6千人増えるの見込まれる（高齢化率約40%）。
高齢者の分布は、2020年には吉原周辺で多く、2040年には加えて富士駅西側市街地も多くなる。
- ③④ 75歳以上の後期高齢者は、高齢者ほど多くないものの、今後の増加が見込まれている。
⇒ 自動車運転が困難になる、75歳以上の後期高齢者高齢者の生活について特に配慮が必要となる。

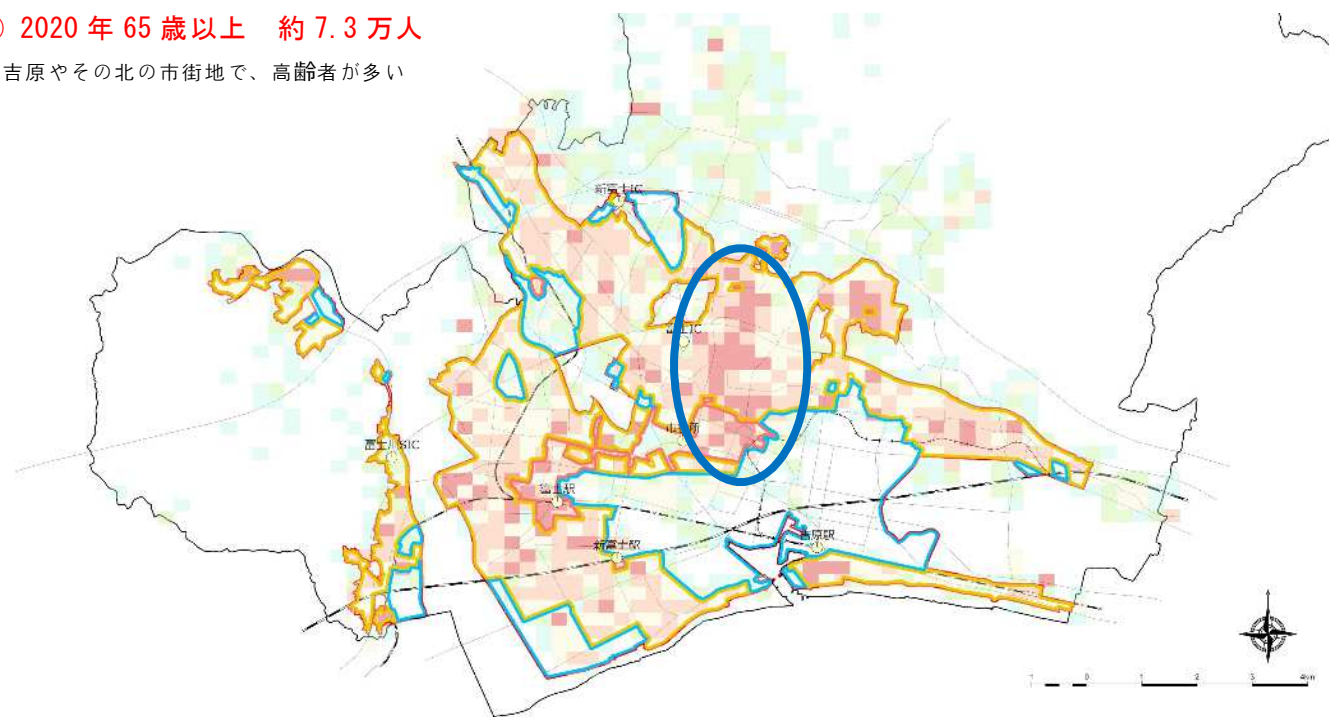
・80歳を超えると、運転できないが急増
⇒75歳以上の後期高齢者について、買い物難民の発生等に留意する必要



■ 高齢者の分布（データ出典：国勢調査2020年5次メッシュ、及び社人研推計2023年4次メッシュ（5次メッシュに配分））

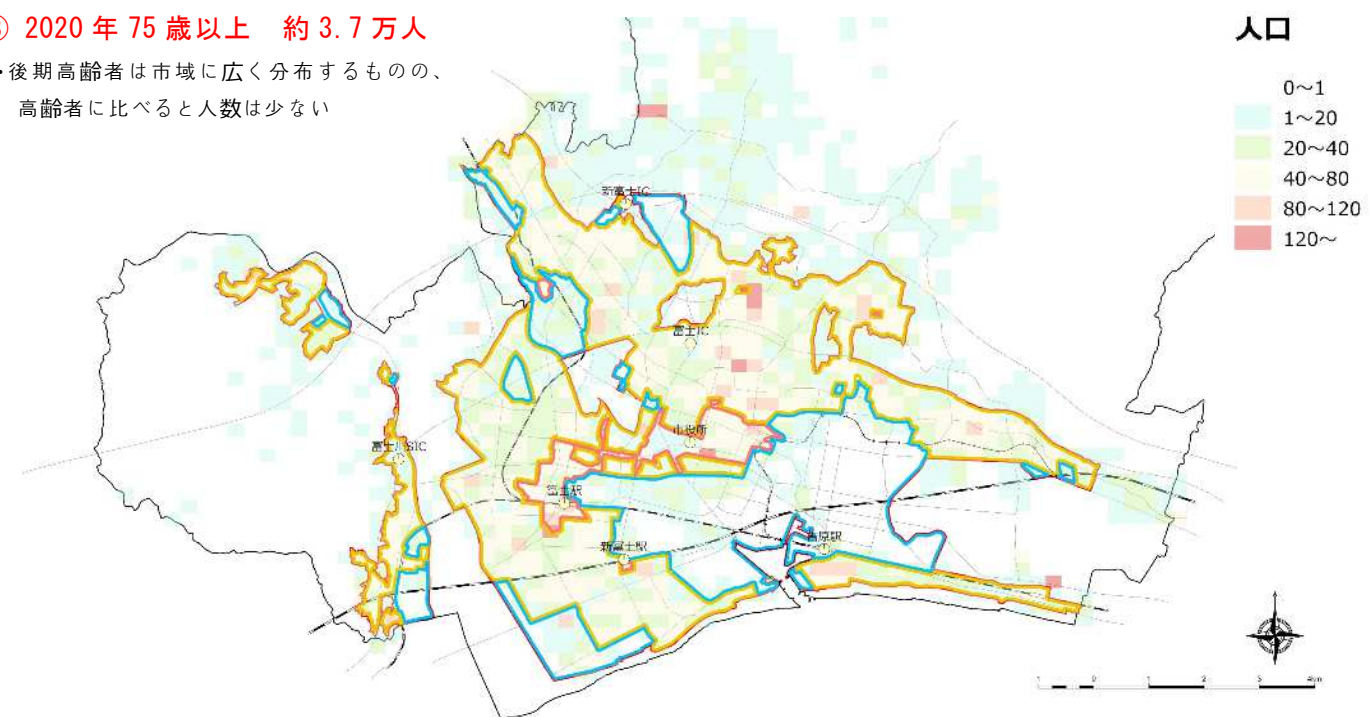
① 2020年65歳以上 約7.3万人

- ・吉原やその北の市街地で、高齢者が多い



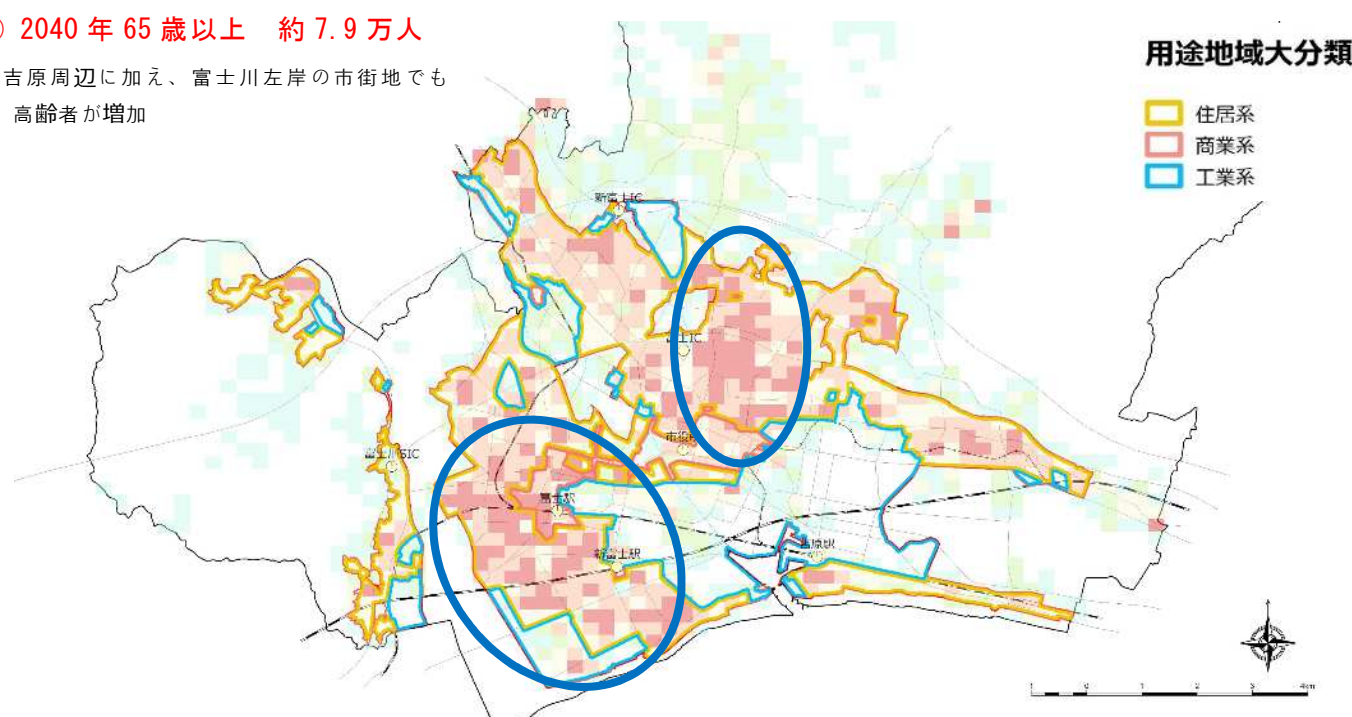
③ 2020年75歳以上 約3.7万人

- ・後期高齢者は市域に広く分布するものの、高齢者に比べると人数は少ない



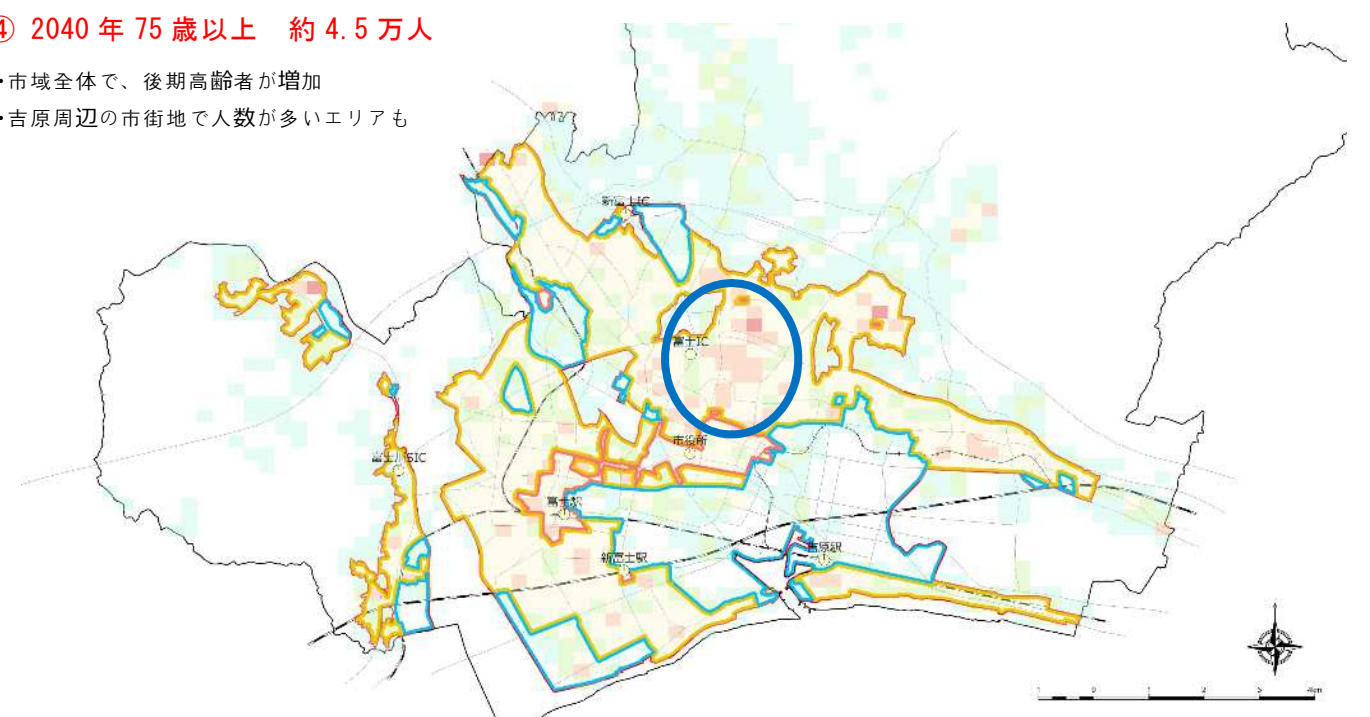
② 2040年65歳以上 約7.9万人

- ・吉原周辺に加え、富士川左岸の市街地でも高齢者が増加



④ 2040年75歳以上 約4.5万人

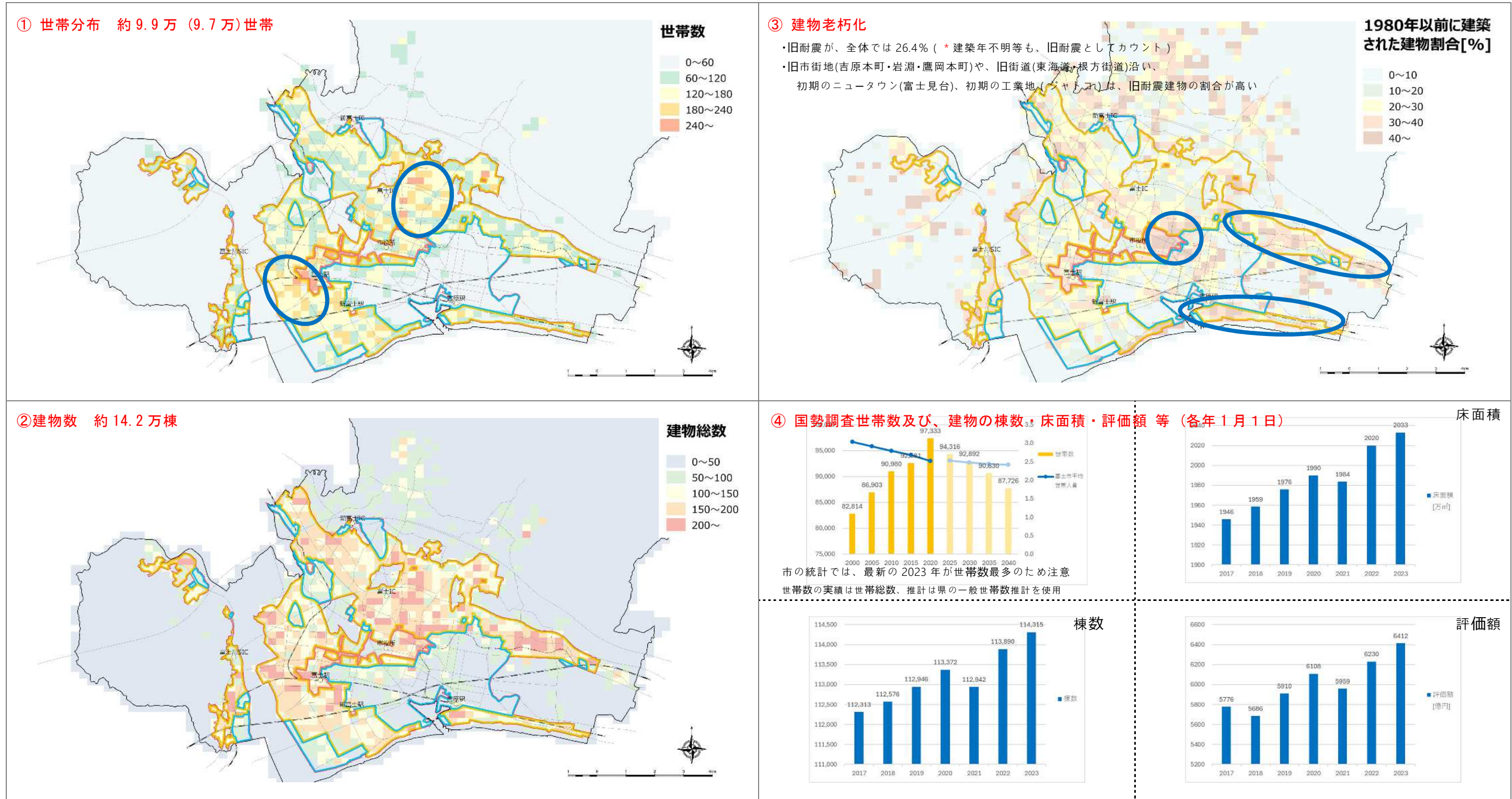
- ・市域全体で、後期高齢者が増加
・吉原周辺の市街地で人数が多いエリアも



(4) 世帯、建物

- ① 世帯数は、2020 年まで増加し続けており、2020 年時点で 10 万世帯弱がある。
- ②③ 建物数は、約 14.2 万棟あり、うち旧耐震の建物が 26% がある。
- ④ 今後の人口減少に伴い、世帯数は減少が見込まれる。
- ⇒ これに伴い、建物棟数・床面積・評価額も今後、減少期を迎えることが想定される（≒ 税収減）。

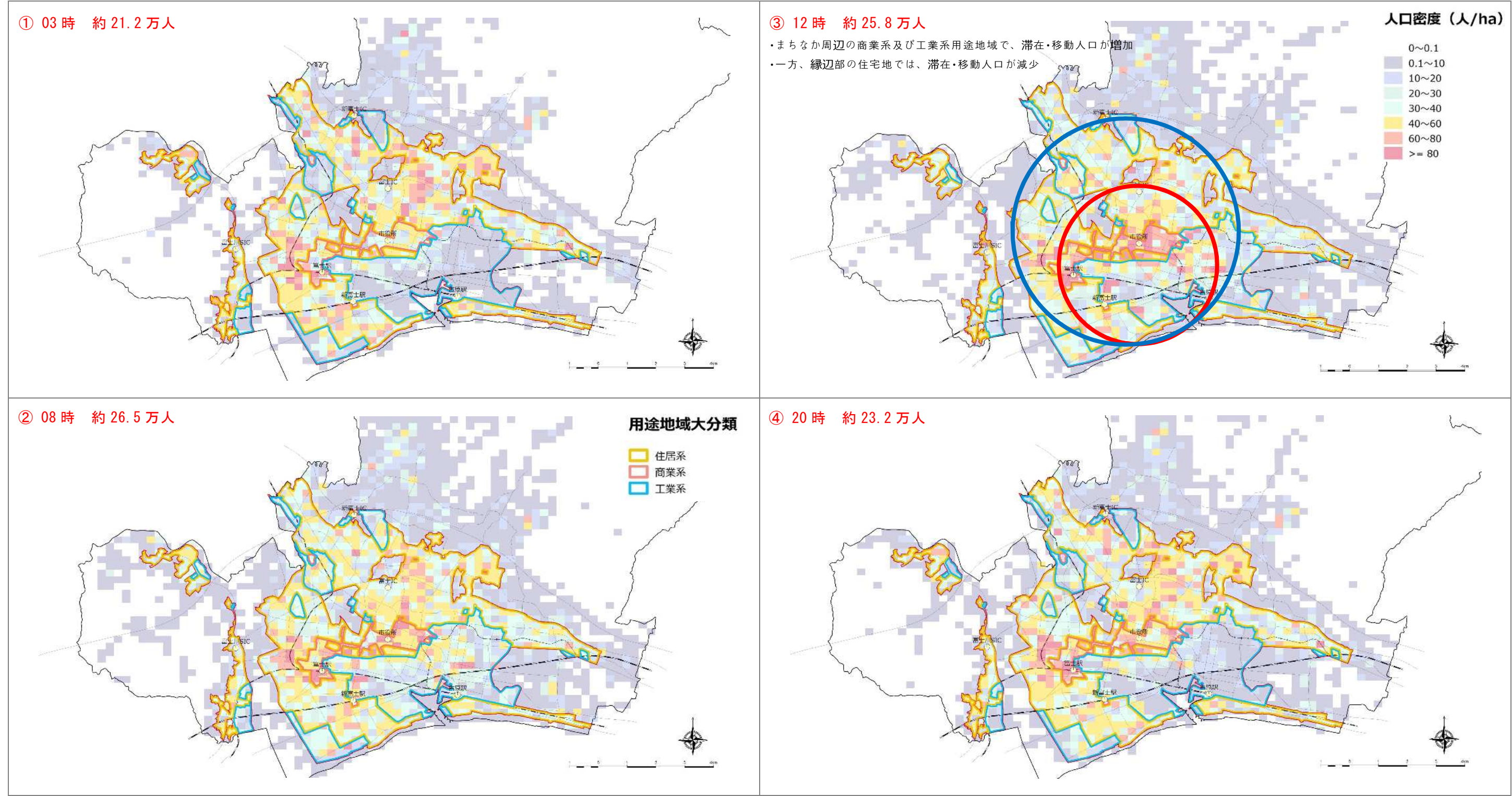
■ 高齢者人口の現況と将来推計（データ出典：国勢調査 2020 年 5 次メッシュ、都市計画基礎調査 2021 年、富士市統計書、社人研推計）



(5) 滞在・移動人口

- 滞在・移動人口は、8時が最大で、約26.5万人になる。(まちなかの人口は12時が最大)
- まちなか周辺の商業系、及び市全体の工業系用途地域で、日中に人口が大きく増加する。
- ⇒ 用途地域(による土地利用や都市機能)が、人の活動や移動を誘導している。

■ 時間帯ごとの都市の人口変化 (データ出典: KDDI Location Data 2020.10 平日分析)



(6) 滞在・移動人口 (市外居住者)

- 市外居住者の滞在・移動人口は、12時が最大で、約5万人になる。(まちなかも12時が最大)
- まちなか周辺に加え、縁辺部の工業系用途地域も、日中に人口が大きく増加する。
- ⇒ 用途地域(による土地利用や都市機能)が、市外居住者を呼び込んでいると推察される。

■ 時間帯ごとの市外居住者人口変化 (データ出典: KDDI Location Data 2020.10 平日分析)

